

● 実現のための方策

■ 考え方

香取市の目指すべき将来像を実現していくための基本姿勢を、市民、事業者（企業）、行政がそれぞれの役割を認識し行動する「協働によるまちづくり」とします。

それとともに、香取市を一つの都市として、計画的なまちづくりを進めるため、市全域を都市計画区域とすることを目指し、市民への説明や関係機関と協議・調整を行っていきます。また、都市計画区域の指定だけでは、計画的なまちづくりを実現するには限界があるため、住民との協働により、地区計画や景観条例などの土地利用誘導策の活用を検討していきます。

■ 都市計画マスタープランの管理

○ 都市計画マスタープランとまちづくりへの取り組みの整合性

- ・ 都市計画マスタープランとまちづくりへの取り組みの整合性について確認します。

○ 将来像の実現に向けての進捗度

- ・ 将来像の実現に向け、具体的な事業や施策がどの程度、進捗したかを定期的に確認します。

○ 社会情勢等との整合性

- ・ 社会・経済情勢、国策・県政、市民生活・市民意識等が大きく変化した場合は、都市計画マスタープランの部分的改訂等、弾力的な見直しを行います。



香取市都市計画マスタープラン

元気と笑顔があふれるまち

一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取



● 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは、都市計画法第18条の2において定められている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」のことです。

まちづくりに関する個別計画や都市計画に関する総合的な指針となります。

● 将来のまちの姿

「香取市総合計画」との整合を図り、以下のとおりとします。

□ 目標年次 平成39年（2027年）

□ まちづくりの基本理念

市民協働による 暮らしやすく 人が集うまちづくり

□ 香取市の将来都市像

元気と笑顔があふれるまち

一人ひとりの市民が輝く 活みなぎる やすらぎの郷 香取

□ まちづくりの目標

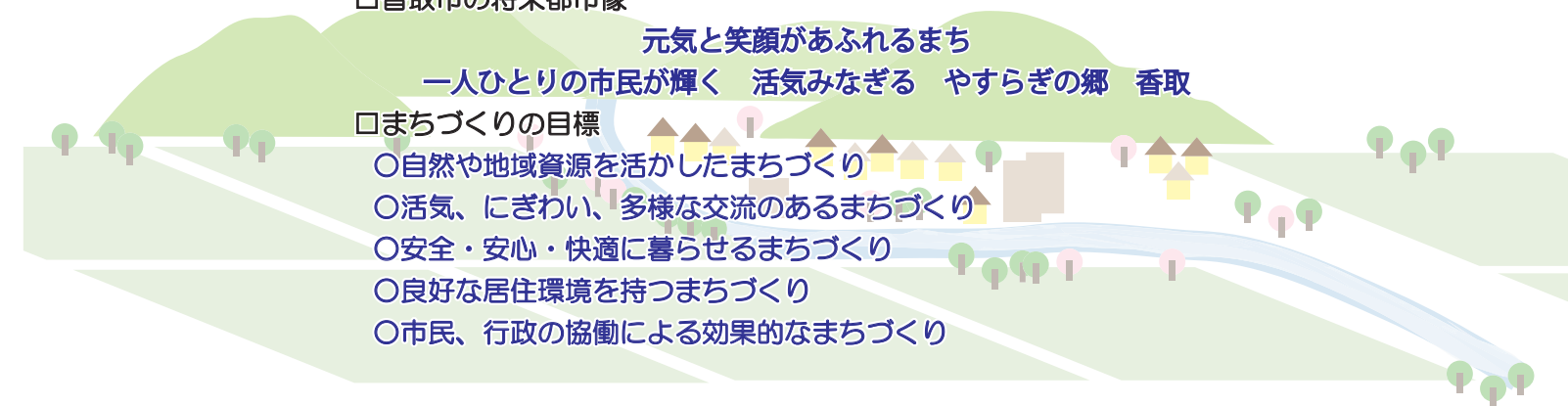
○ 自然や地域資源を活かしたまちづくり

○ 活気、にぎわい、多様な交流のあるまちづくり

○ 安全・安心・快適に暮らせるまちづくり

○ 良好な居住環境を持つまちづくり

○ 市民、行政の協働による効果的なまちづくり



香取市 建設部 都市計画課

〒287-8501 千葉県香取市佐原口 2127

tel : 0478-50-1214 fax : 0478-54-7654

E-mail : toshi-pt@city.katori.lg.jp



平成22年12月

香 取 市

●地域別構想の概要（主な方針など）

○佐原地域の将来像

「歴史、文化を活かした交流とにぎわいのあるまち 佐原」

北総地域の中心として発展してきた佐原の変遷、また、これまで受け継がれてきた「自然環境」、「歴史・文化資源」、「風土」を活かしながら、新たな機能の集積を図り、香取市の居住、交流の中心としての地域づくりを目標とします。

○主な地域づくりの方針

土地利用の方針

- ・都市基盤等の整っていない市街地郊外部への無秩序な宅地開発の抑制
- ・地域の特性を活かした居住環境の維持、形成
- ・佐原駅南口周辺（コミュニティ型商業核）を住・商の調和した商業地として再編

交通環境の方針

- ・国道51号の4車線化、国道356号バイパスの早期整備を関係機関に要請
- ・佐原駅南口周辺や小野川周辺など、歩行者等の交通安全性の向上

自然環境、歴史的資源、景観の方針

- ・風致地区の維持、国定公園や自然公園を形成する水と緑の保全
- ・小野川周辺の歴史的な町並みの保全、景観形成地区の区域拡大の検討
- ・佐原公園や石尊山周辺の緑の景観を維持していくためのルールづくり
- ・佐原駅周辺の玄関口にふさわしい景観の形成

生活環境の方針

- ・市民の生活を支える都市基盤施設の計画的な整備

○小見川地域の将来像

「水と緑に囲まれ、新たな交流・活気を生み出すまち 小見川」

豊かな自然環境や地域資源、恵まれた交通環境を活かし、香取市の新たな交流と活力を生み出す地域づくりを目標とします。

○主な地域づくりの方針

土地利用の方針

- ・黒部川を生活空間のシンボルとした潤いのある住宅地の形成
- ・地域を支える多様な機能と居住環境が調和した小見川駅周辺（定住核）の形成
- ・野田・本郷地区（広域型商業核）等への商業業務機能の誘導
- ・歴史や自然を通じた新たな交流の場となる阿玉台地区周辺（都市活性化拠点）の形成

交通環境の方針

- ・国道356号バイパスの早期整備、また、成田小見川鹿島港線の渋滞解消（小見川大橋の4線化等）を関係機関に要請
- ・小見川駅の駅舎の改修、北口駅前広場の整備
- ・小見川市街地内の観光資源や歴史的資源及び黒部川を結ぶ回遊性のある観光ルートの形成

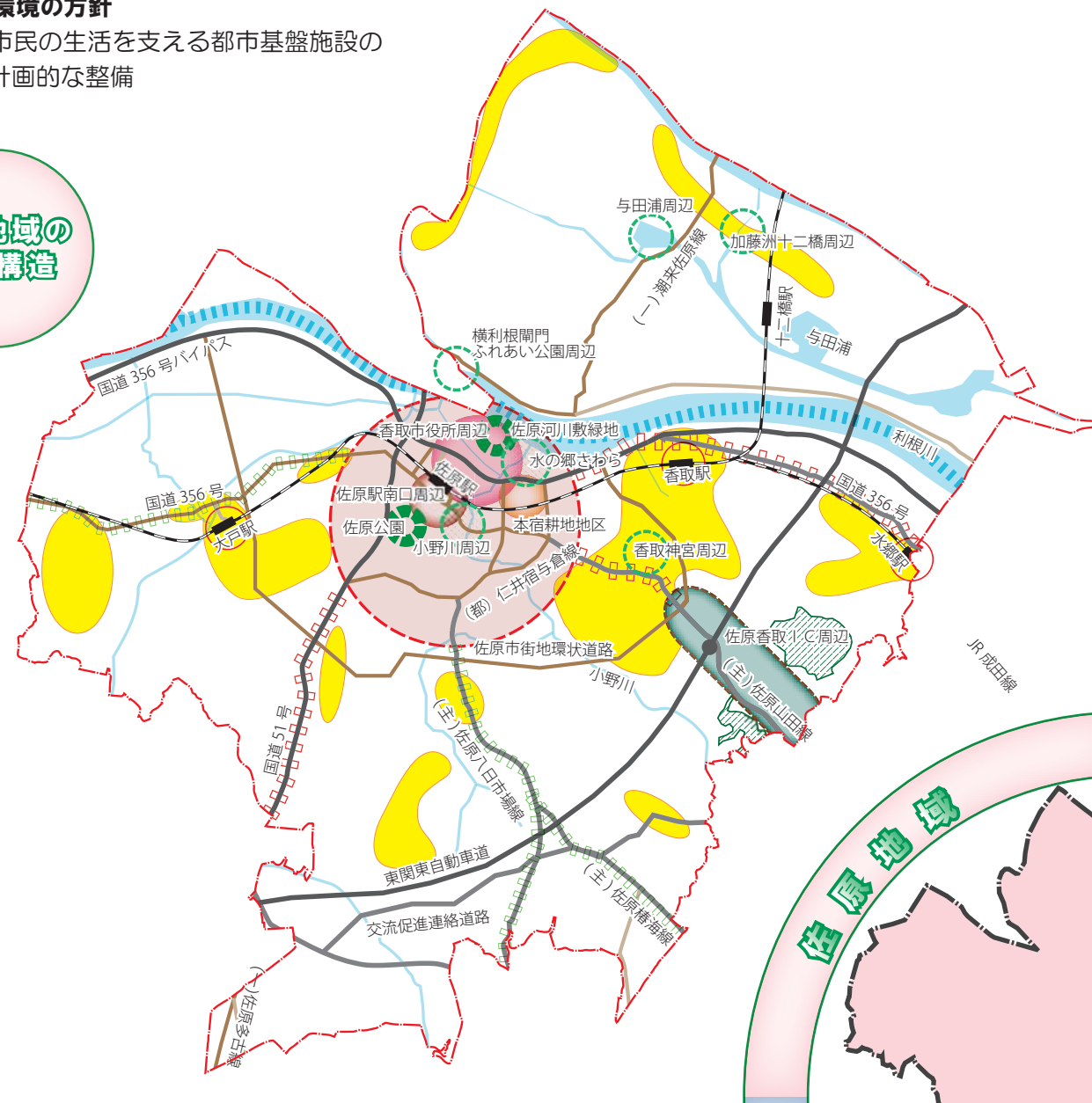
自然環境、歴史的資源、景観の方針

- ・シンボルである黒部川等の河川の水質の浄化
- ・善光寺、内浜公園、夢紫美術館等の維持及び観光資源としての活用
- ・黒部川などの地域の特性を活かした町並みの形成

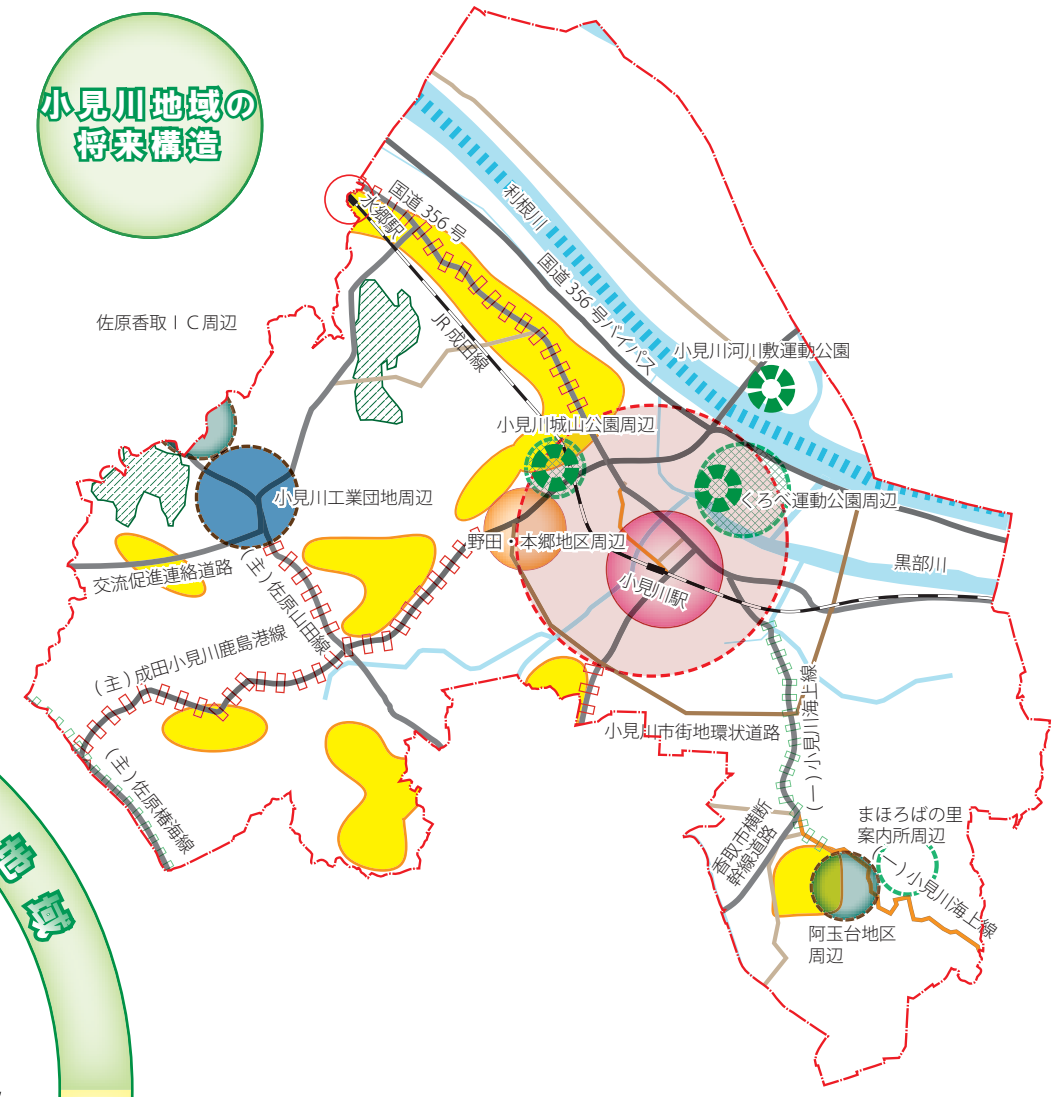
生活環境の方針

- ・市民の生活を支える都市基盤施設の計画的な整備

佐原地域の将来構造

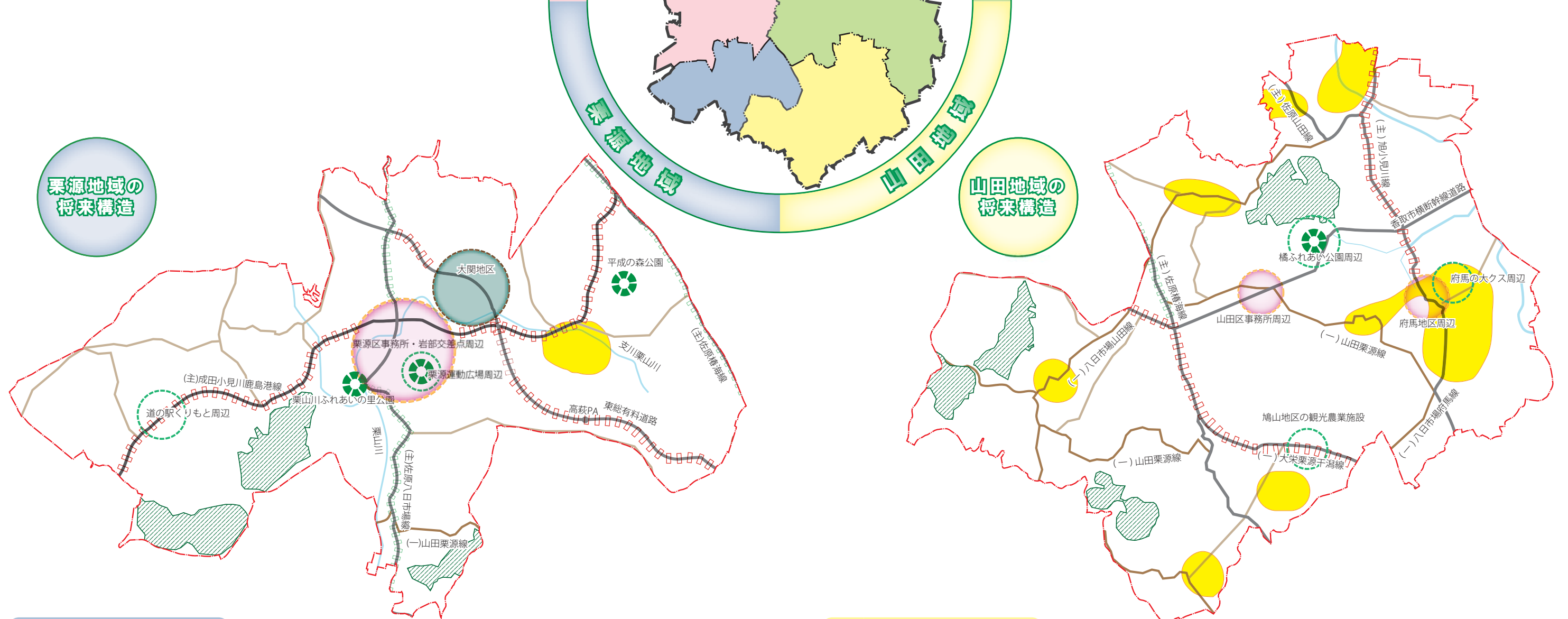


小見川地域の将来構造



凡例

	都市拠点
	定住核
	広域型商業核
	コミュニティ型商業核
	観光交流核
	地区拠点
	産業拠点
	観光交流拠点
	都市活性化拠点
	都市連携軸（利根川）
	都市連携軸（鉄道）
	都市連携軸（道路）
	地域連携軸（道路）
	沿道利用検討区間
	農村集落地等のエリア
	ゴルフ場
	地域の主要な道路
	地域の生活道路
	生活サービス区間
	地域の生活サービス核
	主な公園
	河川



**栗源地域の
将来構造**

**山田地域の
将来構造**

○ 栗源地域の将来像

「農業と新たな活力の調和したまち 栗源」

豊かな自然環境の中で農業を中心とした交流のあるまちづくりを目指します。また、成田国際空港に近接する利便性を活かした産業の誘導を目標とします。

○ 主な地域づくりの方針

土地利用の方針

- ・栗源区事務所周辺（地区拠点）の主要施設の維持・更新、また、交通安全施設の充実等の安全で安心な地区の形成
- ・道の駅くりもと等、農業を活かした都市住民との交流の場の充実・拡大
- ・大関地区（都市活性化拠点）の産業系土地利用の計画的な誘導

交通環境の方針

- ・成田小見川鹿島港線等の幹線道路のバイパス整備や安全対策等を関係機関に要請
- ・東総有料道路の高速バスのバス停周辺の環境整備による利便性の向上

自然環境、歴史的資源、景観の方針

- ・栗山川沿いの農地に連続する斜面林と栗山川の水辺環境の保全
- ・都市住民等、多様な人々の参加による里山の維持・管理
- ・支川栗山川の水辺環境の保全、また、散策路等の検討
- ・地域南部の谷津田等、北総台地の代表的な景観である谷津田景観の保全

生活環境の方針

- ・栗山川ふれあいの里公園の誰もが利用しやすく親しみのある空間づくり
- ・浄化槽の普及促進

○ 山田地域の将来像

「自然、農業、生活が共生し、新たな交流が生まれるまち 山田」

最先端農業や環境にやさしい循環型エネルギーなど、新しい技術の導入や産業の誘導を図り、全国モデルとなるような新たな地域の形成を目指すとともに、自然や農業にふれあえる交流の場としての地域づくりを目標とします。

○ 主な地域づくりの方針

土地利用の方針

- ・山田区事務所周辺（地区拠点）の行政機能、文化機能等の維持、充実
- ・府馬地区周辺（地区拠点）の身近な生活を支える生活サービス施設や利便施設等の誘導
- ・あずま台工業団地の操業環境の維持・充実、神生地区の産業系土地利用の検討
- ・自然環境や景観と調和したレジャー・レクリエーションの場としてのゴルフ場の維持、また、都市住民との交流など、地域の活性化につながる仕組みづくりの検討

交通環境の方針

- ・佐原橋海線と旭小見川線をつなぐ香取市横断幹線道路の整備

自然環境、歴史的資源、景観の方針

- ・都市住民等、多様な人々の参加による里山の維持・管理
- ・山林や照葉樹が生育する自然度の高い山林の保全
- ・府馬の大クスや観福寺等、貴重な自然環境や歴史的景観を形成する地域資源の保全
- ・田園空間整備事業により整備された施設等の適切な維持・管理

生活環境の方針

- ・橋ふれあい公園の周辺の自然環境を活かした公園区域の拡張及び施設の充実
- ・農業集落排水処理施設の計画的な改築更新、浄化槽の普及促進